

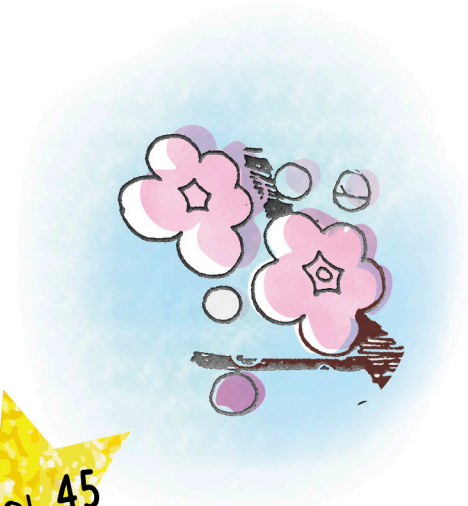
# 新鮮大崎

おおさきを見る・知る・感じる  
まちづくり情報誌

# 春、大崎で始めよう。



VOL.45



大崎周辺エリアから、いきいきまちづくりの情報発信

## 大崎駅前に行こう。

南改札口前  
夢さん橋デッキ

毎週金・土曜日は…  
**おおさき二十四節気祭**  
の日

季節の香りを受けて、  
新鮮野菜・果物が  
到着です！

毎月第1水曜日は…  
**REACH大崎クラフトマーケット**  
の日

毎月第1水曜日開催の  
「リリーチの日」。  
月の始めのお買い物を、  
楽しく！

おおさき二十四節気祭

“季節のお届け人”が  
元気な掛け声で並べる  
旬野菜の数々…

REACH大崎クラフトマーケット

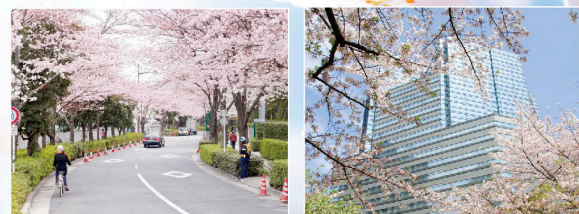
掘り出し物の、イイモノ色々。  
思いがけないシアワセな  
発見もありそう…

詳しくは ▶ [おおさき二十四節気祭](https://www.facebook.com/osaki24seki/)

詳しくは ▶ [REACH大崎クラフトマーケット](http://www.osakireach.net)

# おおさきってこんなまち 春MAP

お奨めスポットもいろいろ。い〜感じな施設が、  
どんどん増えている大崎です!



市街地再開発により蘇生した、輝く「副都心」大崎。そこには、人とまちを優しく繋ぐ、花と緑の潤いがいっぱい。常に季節と一緒に暮らすまちです。



はじめまして…  
おおさきって  
こんなまちです



大崎駅前に並ぶ、野菜のマルシェとクラフト市。大崎のまちに四季の色と、暮らしの彩りをお届けします。(4頁と裏表紙にご案内)



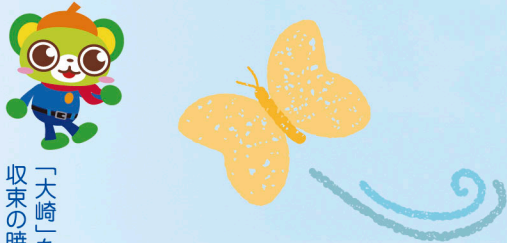
まじめに充実しています!  
そんな人のための、い〜感じな施設もいろいろ。  
優しくて、べんりで、面白さホッコリなまち。  
「山手線始発駅」なまちだけに、ひたすら  
早起きで真実一路な人々もいっぱい居そうで、



まちのシンボルキャラ  
「大崎一番太郎」の手による自画像です



ご紹介したいのは...  
いつものOSAKIです。



「大崎」をお分かりいただく為に、通常の恒例催事や風物をここに紹介。今春はコロナ禍の影響により大崎にはご紹介できませんでしたが、収束の暁には、これまで以上に近づく機会を楽しみながら紹介していきます。(詳しくはWEB等で確認を)



川辺を渡る新風といっしょに、オープンエアなランチタイムをどうぞ



水辺の  
キッチンカー  
(※実施日時は不定期です)



クルーズ RIVER  
目黒川畔の憩い

ロングショットで両岸を覆い尽くす桜並木を眺める醍醐味は格別。大崎で、桜そのものを愛でましょう。もちろん各種クルーズの他にも、岸辺の花見散策もサイコーです。

ようこそ  
OSAKI  
フレッシュヤーズ

大崎駅南改札口前デッキ広場にて、季節の色に出会えます。



季節の駅前マルシェ

「二十四節気祭」のレギュラー・マルシェ。季節の野菜や果物が駅前にズラリ並びます。(通常は毎週金曜、土曜開催)

<https://www.facebook.com/osaki24seki/>



こんなに桜がいっぱい咲くのか、OH! sakiって、ご存知でした?



今や大崎は桜の名所としても有名です。目黒川べり(上/居木橋公園前)や、西口エリアの通称「大崎の森」(左)の桜など一見を。

さくら咲く...



まちに花を植えましょう。「お花いっぱい大崎」のボランティア活動は、まちの誇りです。



人・まち・企業が奏でるシンフォニー、「しながわ夢さん橋」は大崎を代表する定例ビッグイベント!

手作りアートetc.の数々が、暮らしを楽しく豊かにしてくれます。



手づくりクラフト市

アーティストックでハイグレード。「REACH大崎クラフトマーケット」で、お宝な掘り出し物と出会えます。(通常は毎月第1水曜開催)

<http://www.osakireach.net>



いつでも、まちの人々を喜ばせよう、驚かせようと考えてばかり...



大きく花咲く、つて、思い続ける大崎です。  
もスタンバイ！おもてなしの心が、いつか  
人とまちをつなぐ(なんと年100回ほどの)催し  
桜と緑と川のまち、大崎に、春到来です。



HONTO DA WAN!

大崎一番太郎・自画像&WANTA

アウトドア弁当もあり



「お昼休みグルメ」を、充実の各ビルプラザのお弁当 アラカルトでどうぞ!

まちと人と、共に。大崎駅、今年で



「ものづくりのまち大崎」の発展に向けた本格的な歩みの歴史は、明治34年の「貨物駅大崎」の開業によって始まります。今年で開業120周年を迎えた大崎駅。その歩みの前半は、貨物駅としての機能を振り所に進出した多くの工場発展に、さらに後半は地元の人々の暮らしに、つねに緊密に寄り添った「人とまちと共にある駅」としての歴史でもありました。



いろいろあった120年。大崎駅の変遷は、そのまま大崎のまちの移り変わりの姿でした。今、大崎駅オリジナルキャラクターも誕生(上)。時代は、より優しく、力強く、出発進行です。



大崎駅への親しみを、さらに増してほしいと願って…  
開業120周年への感謝を込めて、大崎駅では地元の人々や駅利用者の方々への謝恩と記念の周年行事を実施しました。時あたかもコロナウイルスが猛威をふるう中、感染を避けての実施だけに大掛かりな催しは行えないものの、地域の幼稚園児、小学生の手による記念絵画展や、サインージでの構内記念放映など、今後も親しいお付き合いを、との心のこもった謝恩イベントとなりました。

2月25日、大崎のまちと共に、晴れて開業120周年！  
意外にも、日本で最初に誕生した私鉄(日本鉄道品川線)の貨物駅の一つであった大崎駅。今では、1日約30万人以上の利用客が行き交うJRの基幹駅として、文字通り大崎発展への始発駅としての役割を果たしてきました。この間、「しながわ夢さん橋」でのノストップ山手線参加など、つねに地元(まち)の人々と一体となった駅の姿を呈示しています。

開業  
120周年

おおさき催しものごあんない

希少/生粋の「大崎土産」が買える、慟哭の通販サイト!



# 大崎新緑 ステーション ONLINE



やがて花開く。夢追い人を優しく迎えるあの場所から…

が呼んでます!

全約70種! 一見よ、この執念のモノ(グッズ)づくりパワー。君へ、大崎人は只者(フツー)じゃないぞって教えよう!



<https://shinryoku.kawaiiishop.jp>

○美術館

## 4月～6月の展示スケジュールご案内

大崎“駅前”の美術館として知られるO(オー)美術館。美術鑑賞や作品発表の場に多目的な利用の出来る美術館です。ぜひお気軽にご来館ください。



■開館時間: 10:00～18:30 (※入館は開館時間の30分前まで)  
■休館日: 木曜日、年末年始、保守点検日  
■交通: 「大崎駅」北改札東口から徒歩2分  
■所在地: 大崎 1-6-2 大崎ニューシティ 2号館 2階  
※展示スケジュールについては、主催者の搬入・搬出により日時が変更となる場合があります。TEL.03-3495-4040  
【O美術館公式サイト】 [http://www.shinagawa-culture.or.jp/o\\_art/](http://www.shinagawa-culture.or.jp/o_art/)

4月	4/2(金)～4/7(水) / 日本表現派東京支部展 (日本画、洋画、インク、水墨)
	4/23(金)～4/28(水) / 第8回 東京一水会展 (油彩、水彩)
	4/30(金)～5/5(水・祝) / 第31回 東彩会展 (絵画、絵付陶器)
5月	5/7(金)～5/12(水) / 第38回 八雲展 (油彩、水彩、日本画、パステル、墨絵、彫刻、工芸)
	5/15(土)～5/19(水) / スイスメグロ派 グラスリツェン作品展 (ガラス工芸)
	5/21(金)～5/26(水) / 墨画GROUP 82・29th展 (墨画)
	5/28(金)～6/2(水) / 日比谷同友会書道愛好会作品展 (書道) <第1展示室>
6月	5/28(金)～6/2(水) / 閑雲野鶴 志村嗣生工筆画展 (工筆画) <第2・3・4展示室>
	6/4(金)～6/9(水) / アトリエヴァースノワール教室展及ひ村田旭作品展 (油彩、水彩、パステル)
	6/11(金)～6/16(水) / 2021洛陽中国書法水墨画院展 (水墨、墨彩、書)
	6/19(土)～6/24(水) / 第36回・第37回 日本剪画合同展 (切り絵)
	6/25(金)～6/30(水) / 第六回 楽写会写真展 (写真) <第2展示室>

新鮮大崎



「新鮮大崎」から、ひとこと…  
新型コロナウイルス禍による各施設でのイベント中止により、当「催し案内」頁がイレギュラーな形態となっています。今後の収束によるイベント再開を通じ、これからも、元気な大崎の復活と躍動をお伝えしたいと願っています。

いつも何がやっている、イベントシティ大崎からのインフォメーション

# EVENTS INFORMATION



その1

# 大崎のママたちを応援！ 春は公園でピクニック！



大崎在住3児の母、ゆりです。  
コロナ対策とはいえ、毎日小さい子どもと一緒に過ごすにしているのは大変です。感染リスクの少ない近所の公園へ、のんびりピクニックに出かけましょう！

今回は、大崎駅周辺で、小さなお子さんでも遊びやすい「芝生エリアの広い公園」をご紹介します。  
五反田ふれあい水辺広場(東五反田2-9-11 大崎駅徒歩6分)

目黒川沿いにあるので、川辺の木々を眺めながらのんびりお弁当を広げるのにおすすめ。すぐ近くにスーパーや、



きれいなトイレもあり、子連れのファミリーにも安心です。水辺広場自体には遊具はありませんが、すぐ隣に遊ぶときの公園があり、思いっきり遊ぶこともできます。

戸越公園(品川区豊町2-1-30 大崎駅徒歩17分)

大崎駅から少し距離はありますが、住宅街を歩いていくので危険も少なく、お散歩感覚で足をのびた広い公園。日本庭園風の景色を残す、歴史を感じさせる公園です。遊具のあるエリアもあり活発な子どもいっぱい遊ぶことができます。

園内の池にはカルガモや亀などの生き物もたくさんいます。

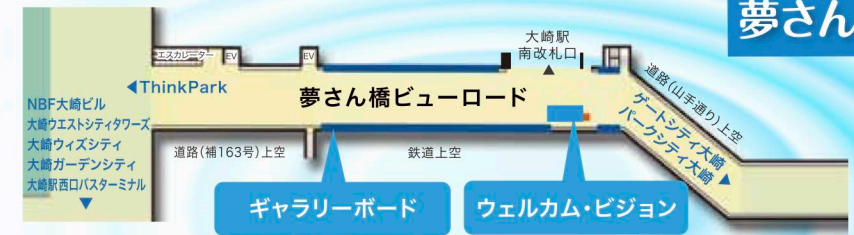
note  
暖かくなったら、お弁当を持って公園へ出かけよう

おにぎり一個でピクニックに行こう

きちんとしたお弁当がなくなると、おにぎりが一つあれば、小さい子どもは楽しくピクニックできます。レジャーシートだけベビーカーに放り込んで、お散歩のついでにママ&パパものんびり楽しんでください。



筆者紹介 ゆり/大崎在住、3児の母。モットーは「ママが楽になる育児」。ママまつ、しなごこねっと、品川子育てメッセなど、2013年より現在まで品川区の子育て支援に関わる。



1日約13万人が通う、オープンデッキ上のメディア・ストリート「夢さん橋ビューロード」から  
広告発信しませんか



美術館の絵のように語りかける「ギャラリーボード」  
副都心大崎の「ゲートウェイ」を行き来する夥しい数の人々に、全38枠のマルチサイズポスターがゆったりと、アート感覚な広告メッセージを伝えています。



ポスター&映像で、ハートtoハートのメッセージを!

南改札口正面の大迫カメディア「大崎ウェルカム・ビジョン」  
改札口真正面から人々の視線をダイレクトに捉える大型マルチビジョン。多業種、多品目に及ぶ多彩なスポット広告の他、身近な暮らしとまちの広報、催事情報など、幅広い映像コンテンツを毎日14時間にわたって放映します。



こんなにも身近な場所から、こんなにも多くの人々へ!

「夢さん橋ビューロード」とは、情報機能を携えた「夢さん橋」の別名です。ヨロシク!



「大崎ウェルカム・ビジョン」、「ギャラリーボード」から「効く情報発信を」! 詳しくはホームページ! から▶



Mining Myself ~さがそう、わたしの楽しいコト~ M-coto



親子が無料から参加できる、さまざまなイベントを開催!  
コロナの影響で現在はオンラインがメインになっていますが、今後は大崎周辺でも、イベントを再開していきます。わたがしをお好みで作るように、「わたし」にピッタリのワークショップや講座を自由に選んでご参加ください。

詳しくはWEBをご覧ください

わたがしひろば 検索

「自分の得意なことを誰かに伝えたい」という方向けに、同じような気持ちを持つ仲間とつながるLINEオープンチャットを無料で運営しています。  
すでに先生として活躍している方も、何かやりたいけど何をしたいかわからない...という方でも参加できますので、お気軽にご参加ください。情報交換の交流会も。



今、野菜が嬉しい、頼もしい！

おおさき二十四節気祭  
による...



おいしい野菜  
果物の選び方



夏イメージが強いトマトですが、実は春から初夏(3〜5月頃)にも美味しい時期を迎えることをご存じでしょうか？

トマトの原産は南米で、日本の高温多湿に弱く、春先の気候がトマトにとってベストシーズンとも言えます。春、夏を中心に、時期に合わせたさまざまな種類のトマトが店頭に並びます。フルツトマト、高糖度トマトやマイクロトマトなど、種類や品種がたくさんあります。世界では1万種類、日本では200種類を超えるトマトが品種登録されています。今回は、味は濃く、栄養も高くなる、春に美味しいトマトの目利きポイントをご紹介します。

## ためになる野菜と季節の話 その4

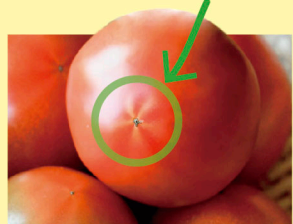
その4



### 【おいしいトマト選びのポイント】

① トマトのお尻に「放射状の筋」ははっきりしていること、「**が**ポイント。

ヘタの反対側のお尻の部分に、放射状の白っぽい筋が入っていると美味しい証拠です。スターマークと言われたりします。お尻の先から枯れたような茶色い筋が出ている場合も美味しい証拠です。スーパーにはありませんが、生産者直売所やマルシェなどに出品されています。



② トマトは「見た目よりも重いこと！」がポイント。

持ってみる時に、ずっしりと重いものが美味しいです。糖度の高いトマトほど重く、水に沈みます。お店で水に沈める訳にはいかないので、持ってみて重くハリのあるトマトを選びましょう。

農産地の皆さんから  
OSAKIの皆さんへ  
美味しいお便り

## 採れたて産地情報

愛媛県伊予郡砥部町 電子食品流通研究所 (樋口剛志さん)

頭のてっぺんがぼんぼり盛り上がりつつある形から「デコポン」と呼ばれる柑橘が旬を迎えます。実は「デコポン」はブランド名で、「一般名称を「不知火(しらぬい)」と言います。糖度が13度以上でクエン酸1.0以下などの基準を満たし、日園連に加盟するJAから出荷するものだけが「デコポン」と名乗れるのです。案内みなさんが食べている果物も、数々の難関をクリアしたエリートたちがスーパーなどの店頭に並んでいるわけです。

「農家さんの出荷するものは「デコポン」と呼べないのですが、とっても美味しい「しらぬい」をご紹介します。愛媛県伊予郡砥部町の「しらぬい」は、酸も少し残しつつ出来る限り後半に時期をずらして出荷するので、酸味と甘味のバランスがよく、食べ応えがあります。砥部焼で有名な砥部町のみかん農家樋口さんの美味しい「しらぬい」は、3、4月から順次出荷します。樋口さんの美味しい「しらぬい」はネットでも購入可能です。ぜひぜひ、ご購入してみてください。



■ ポケットマルシェ  
樋口剛志さん(電子食品流通研究所)の通販サイトはこちら  
<https://poke-m.com/producers/61491>



## 旬と季節に出会う週末、大崎駅前マルシェ(おおさき二十四節気祭)で野菜を買おう。



棕本修平 / 「大崎駅前マルシェ」主催者。ムクモト設計株式会社代表取締役。「消費地と産地の、お互いのギャップを埋めるような場所づくりを目指しています。」

おおさき二十四節気祭(通称:大崎駅前マルシェ)は、大崎駅前毎週金曜日と土曜日の2日間開催しているイベントです。毎週たくさんの農家さんや大崎のお店さんが出店しています。お店では、産直の新鮮な野菜やこだわりの食品などを販売しています。

全国の美味しい野菜や果物が集まり、農家直伝の野菜レシピが聞ける、大崎駅前マルシェ。旬の魅力に出会える週末を演出中!ぜひ、金曜日と土曜日は、大崎駅前にお立ち寄りください。

■ 場所 / 大崎駅南改札前 東西自由通路  
■ 開催日時 / 毎週金・土曜日・12時〜19時 ※facebookでご確認を

■ 主催 / ムクモト設計(株) 棕本修平  
■ 協力 / (一社)大崎エリアマネジメント

新連載 ■ キャラ・きゃらコラム

犬山パパから...  
みんな YORO SHIKU!



自己紹介を...  
大崎一番太郎の生みの親、  
犬山パパのプロフィール

■ 犬山パパこと大山秋彦氏 / ゆるキャラ研究家・ライター・デザイナー。自衛隊・デザイナー・ドを経て現在に至る。著書に共著『ゆるキャラ論』絵本『しんかいくんとうみのおともだち』等



その7  
関東初!?  
最大級ゆるキャラ  
イベントのはずが...

震災の傷跡深く...

2011年の東日本大震災はゆるキャラ業界にも深く影響を残しました。

この年の3月、戸越銀座では戸越銀次郎を中心に13キャラが集結するイベントを予定していました。またキャラを集めた大規模イベントが一般化する以前だったので、少なくとも関東では初の試みだったかも知れません。

レジエント級のキャラが大集合!

キャラの厳選は「ご当地キャラニュース」が行ってくれました。後に炎上して有名になる「まんべん丸」や、スパンキーとバンドを組んだりライブで共演することへ、



全国各地を巡り、大忙しだった大崎一番太郎&戸越銀次郎

総額60万円以上のお金が集まりました。以来、全国でもキャライベントが次々に開催されました。それまで地元の商店街や品川区から出ることもなかった銀次郎と番太郎でしたが、これを機に彦根や岐阜、仙台などの被災地を訪れ、品川区長といっしょに郡山の避難所を訪問したこともありました。

## 新しいキャラ文化の誕生

キャラがイベントを盛り上げることで震災後の暗いムードがやわらぎ、義援金も多く集まりました。震災後に誕生したキャラも多く、日本中の絆を深めるためにも「ゆるキャラ」は活用されるようになってゆきます。後に親しくなる「ぶなっしー」も誕生のきっかけは震災でした。

しかし、この時はまだ気づいてなかったのですが、キャラ活動に専念すればするほどお金がかかります。それまでライターやデザイナーとしてけっこう調子よく、大きな仕事を任されていたので貯金にも余裕があったので、何も考えずに自腹で地方遠征に行っていました。世のため人のためという大義名分のため、すべてどんぶり動定でまったく何の計算もしてなかったのです... (つづく)



震災で中止となったイベントのポスター



裏も表も全部入り



次回開催は  
2021年6月頃予定

“花植え”へのサポートはいろいろ!——大崎周辺の企業やご家族、個人の方々の“美しいまちづくり”への参加をお待ちしています。



毎年2回、“みんなの力”を集めて行われる恒例行事の「お花いっぱい大崎」運動。地元にお住いの方やお勤めの方々等の参加による花植え作業を、花の植え替え時期に合わせて行っています。また、大崎駅東口(おなりばし公園)エリアと西口(ひふみ公園)エリアで手分けして行う当日の花植え作業の他にも、事前の手入れや日常のケアなどにサポートいただく方々の参加も大歓迎です!——お子様からご高齢の方まで、みんなの力を合わせて私たちの大崎を“一年中美しいまち”にしませんか。

**皆様のご参加をお待ちしています!**  
この活動は周辺企業の皆様のご協力で運営しています。新たにご賛同頂ける企業、個人の方々の参加を随時募っています。詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

◆「お花いっぱい大崎」に関するお問い合わせ(事務局)  
一般社団法人 大崎エリアマネジメント TEL:03-5719-0800 <http://ohsaki-area.or.jp>



まちに花を  
植えよう

私たちが暮らすこのまちを、花と緑の潤いで、いっぱいにして!...  
一年中美しい大崎に向けて、年2回、みんなで花を植えましょう。

OAMが  
やること

「大崎駅西口バスターミナル」など、  
周辺施設の運営管理を行っています。



大崎と空港が直結! 賑わいと観光の新拠点「大崎駅西口バスターミナル」をはじめ、周辺地域のあらゆる施設の運営管理を行っています。

「大崎駅西口バスターミナル」は、地域の足である「路線バス」、地方とつなぐ「高速バス」、成田と羽田直結の「空港行バス」が発着し、都心の新たな交通結節点として重要な役割を担っています。その他、OAMでは多くの施設運営を通じ、大崎地域のさらなる賑わいと魅力づくりを推進しています。



バスターミナルの  
情報はこちらで▶



大崎の最新情報が分かる!? Freeeeek!!  
超局所的情報発信型トーク番組「山口竜之介の大崎フリーク!」



毎週金曜日  
20:30~20:56  
FM品川(88.9MHz)  
にて絶賛!放送中!



提供: (一社)大崎エリアマネジメント

# 大崎、夜明けの時を辿って。【都市再生編①】

## “まっ暗”から、曙の空へ、突き抜けるOSAKI

過去から現在、未来へと受け継がれていく「ふるさと大崎」のDNA(原風景)を訪ねる『おさき今昔物語』。

その第三十五話は、“大崎真っ暗”と揶揄された灰色のまちのイメージ色濃かった時代から、曙の時代へ、都市整備に基づいた大崎再生への歩みを辿ります。

高度成長の歪みが表面化する中で活気を失い始めた大崎のまちに、夜明けの明りをもたらした市街地再開発の動き。目覚ましい発展を遂げる副都心大崎の草創の歴史が、そこにありました。

再開発前の大崎

### 大崎まちづくりへの歩み

江戸時代	品川宿が繁栄し、これに向けた食料供給地として、目黒川畔に水田が形成される
明治初期	明治政府の殖産興業化で、大崎へ工場進出が始まる
明治後期	日露戦争以降、目黒川畔への工場進出が顕著に
大正後期	関東大震災の被災地から品川区に人口、工場が集中
昭和初期	多くの田畑や宅地が工場の敷地となり、「まち」へと変貌
昭和30年代	急激な経済成長で大崎は有数の工業地帯へ
昭和40年代	品川区への過度の人口・産業集中で公害が問題化
昭和51年	公害対策をにらんだ「品川区長期基本計画」策定、「住宅と産業の調和のとれた緑豊かな近代都市」へ取り組み開始
昭和57年	東京都長期基本計画策定(大崎副都心の指定)
昭和62年	東口第1地区(大崎ニューシティ)竣工、その後、大崎駅周辺地域の再開発が進む
同年	同地区にて「しながわ夢さん橋」イベント開始
平成19年	「大崎駅周辺地域都市再生ビジョン」策定(H16年)に伴い、「大崎エリアマネージメント」誕生
平成20年以降	大崎駅周辺地域の街区整備と地域イベント等により、大崎の活性化が進む

地元の需要に応える各種店舗を始め、駅直結のO歩道橋やOパティオなど、様々な都市機能を備えた大崎ニューシティ。その後、大崎駅周辺の街区整備や「しながわ夢さん橋」イベント開催等の胎動により、「人とまちをつなぐ大崎」の活性化が進展していきます。



昭和62年、大崎駅東口第1地区(大崎ニューシティ)竣工当時の大崎駅周辺。東口第2地区(ゲートシティ大崎)がまだ建設される前、その姿は、大崎のまちに明かりを灯して導く燈台のよう。



都市再生の第一歩。竣工式当日、地元の人々を招いたO歩道橋での「渡り初め」。

秩序と先進のテクノスクエアへ。大崎副都心への勇躍へ。昭和、平成の時代、光を追い求めた時へ  
「住宅と産業の調和のとれた緑豊かな近代都市」を目指し、品川区の将来像を提示した「品川区長期基本計画」をはじめ、その後「大崎副都心の位置付けがなされた「東京都長期基本計画(昭和57年)により、大崎は本格的な都市再生への歩みを開始します。  
昭和62年(1987年)、大崎駅東口第1地区に創出した「大崎ニューシティ」は、こうした大崎全体の都市再生に向け、そのトップバッターとなり、大崎のまちが灰色のイメージから、輝く先端技術のテクノスクエア(東京都長期計画)へと進化する、時代の先駆けとしての役割が期待されることとなります。  
その後、平成10年の東口第2地区(ゲートシティ大崎)の竣工や、西口エリアの各再開発事業の進展に伴い、大崎は正に目覚ましい「曙の時代」を切り開いていったのです。当編続く

昭和30年代、日本初のトランジスタラジオや家電製品の開発製造等により、高度なハイテク企業のまちとして成長する大崎も、昭和40年代に入ると過度の人口・産業集中による公害が問題化。さらにその後の地価高騰や工場老朽化等による工場移転も多発し、跡地利用の無秩序化が目立ち始めます。こうした状況打開に向け、昭和51年「品川区長期基本計画」に支えられた新しいまちづくりへの胎動が始まったのです。



飛翔、再生へ

